



HONJO DIGITAL STAMP RALLY

本庄宿デジタルスタンプラリー

中山道最大規模の宿場 本庄宿の 近世から近現代の発展を辿る。

現在の本庄駅周辺の地域は、江戸時代には中山道最大級の宿場町「本庄宿」として栄えていました。

この地は、古くから利根川の水運・陸路などの交通の要衝として交流・交易が盛んであり、明治に入ってから養蚕や製糸産業によって発展しました。

本庄市街地には、本庄宿の成立から明治以降の発展に至るまでの歴史を物語る建物や構造物が、今も多く残されています。

スマートフォンでスタンプを集めながら、本庄宿が発展した歴史を辿ってみませんか。



参加申込み不要・参加無料

※本庄宿の魅力を感じながらスマートフォンでデジタルスタンプを集めるイベントです！！

※スタンプ 5 個以上獲得した方には先着 500 名にオリジナル缶バッジを差し上げます。

スタンプラリー実施期間：

令和 7 年

10/24 (金)

～

令和 8 年

1/24 (土)

スタンプラリー実施エリア：

中山道本庄宿一帯 ※裏面を参照

(千代田三丁目交差点～中山道交差点)

実施主体：本庄市文化財保護課 電話 0495-25-1185(平日9時～17時)

※本事業には埼玉県ふるさと創造資金を活用しています。

■本庄宿とは

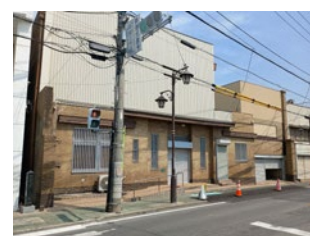
本庄宿は、慶長7年(1602)頃の中山道整備にともない現在の本庄市街地に成立した宿場です。天保14年(1843)の「中山道宿村大概帳」によると、当時は家数 1,212 軒、人口 4,554 人が暮らす、中山道 69 次の中でも最大級の宿場でした。

本庄は、古くから陸運・水運の要衝であり、人や物の往来が盛んでした。とくに水運を利用した山王堂河岸、一本木河岸も大いに賑わいました。

本庄宿には、大名や幕府役人が休憩や宿泊に利用した旅館である本陣・脇本陣のほか、多くの旅籠屋や商家が軒を連ねていました。また、狂歌師の太田南畝や俳人の小林一茶など、文化人が訪れた記録も残されています。

■実施期間：令和7年10月24日（金）～令和8年1月24日（土）

■実施場所とチェックポイント：下記の15箇所の文化財がチェックポイントとなります。



旧本庄仲町郵便局



安養院



賀美橋

■参加方法およびスタンプの集め方：

- ・下の二次元コードからサイトにアクセスし、画面の指示に従って、ユーザー名、IDを入力すると、デジタルスタンプラリーが利用可能となります。
- ・スマートフォンを使って、各チェックポイントにあるパネルから二次元コードを読み込むとデジタルスタンプが獲得できます。

【上記の方法によるご参加が難しい方】

- ・デジタルスタンプの代わりとして各チェックポイントにあるパネルを携帯電話・カメラなどで撮影いただいてもOKです。特典とお引き換えの際に、撮影した写真画像をご提示ください。

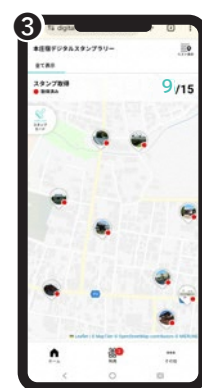
↓参加・利用方法は
こちらから



①左の二次元コードにアクセスし、画面指示に沿って登録すると上の画面が表示されます。



②カメラが起動します。パネルの二次元コードを読み込むとスタンプが取得されます。



③周辺地図が表示され、近くにあるチェックポイントが表示されます。スタンプ取得済の地点は右下に●が表示されます。



④スタンプカードでも取得済の地点を確認できます。各地点の写真をタップすると解説が表示されます。

■特典：スタンプ5個集めるごとに1つ、オリジナル缶バッジを差し上げます。（先着500個）

- ・缶バッジは、下記施設でお渡ししております。（上の地図を参照）

①本庄市インフォメーションセンター（JR本庄駅南口直結）

営業時間… 9:00～21:00

②本庄市文化財保護課（市役所4階）

受渡時間…平日9:00～17:00



オリジナル缶バッジ